

## エコ・テクノ2007「バイオ燃料セミナー」の報告

去る平成19年10月19日（金）西日本総合展示会場新館（北九州）で開催された「エコテクノ2007」セミナー会場において、九州地域バイオマス関係機関連絡会議、九州バイオマス発見活用協議会及び（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構九州支部の主催により、国産バイオ燃料の推進を目的とした「バイオ燃料セミナー」を開催しました。

セミナーでは、国産バイオマス燃料に関する動向、バイオエタノール生産技術の研究開発の動向や事業者による取組事例の報告等について6名の講師から講演を受け、延べ360名が参加しました。

講演資料については、下表からご覧になれます。



また、「エコテクノ2007」展示場では、10月17～18日の2日間、九州バイオマス発見活用協議会（事務局：NPO法人九州バイオマスフォーラム）が、使用済み食用油をバイオディーゼル燃料の精製の実演、精製した燃料で発電を行いコンサートやバイオマスに関するクイズを実施し、見学者500名にバイオマスの有効性をアピールしました。

なお、この取組は、農林水産省の「地域バイオマス発見活用促進事業」の一環として実施しており、「ぐるっと九州エコキャラバン」と銘打ち、バイオディーゼル燃料で走るトラックで、九州各地のショッピングセンターや環境啓発のイベントでバイオディーゼル燃料の精製の実演やPRを行っています。



# 講演資料

## 「国産バイオ燃料の大幅生産拡大とバイオマス活用の加速化」

農林水産省大臣官房 環境バイオマス政策課  
バイオマス推進室 企画専門職 徳若 正純

## 「国産バイオ燃料の将来性」

(株)三菱総合研究所 地球環境研究本部  
地球温暖化対策研究グループ 主任研究員 井上 貴至

## 「建築廃材を利用した自動車燃料製造」

宮崎大学 農学部 応用生物科学科 教授 太田 一良

## 「NEDOにおけるバイオマス技術開発の動向」

NEDO技術開発機構新エネルギー技術開発部  
バイオマス・廃棄物グループ 主査 銅谷 陽

## 「サツマイモからの燃料用エタノール生産」

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター  
九州バイオマス利用研究チーム長 薬師堂 謙一

## 「生ゴミからエタノール ～北九州市エコタウン～」

新日鉄エンジニアリング(株) 北九州環境技術センター長 羽島 康文

## 「ガソリンスタンドはまちのエコロジーステーション」

油藤商事(株) 専務取締役 青山 裕史

## 「九州発環境ビジネスを支援するK-RIP」

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ  
クラスターマネージャー 飯塚 誠

## 「バイオマスエネルギーの複合利活用事業について」

(有)鳥栖環境開発総合センター 開発部 研究開発課 課長 高木 修一